



Hello! Bonjour! カナダの生活あるある EX 版

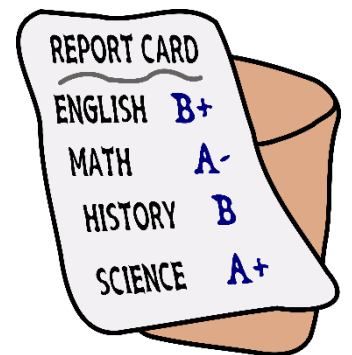
皆さんこんにちは！国際交流員のメリーです。広報ほっと京たなべ平成30年5月号のコラム「Hello! Bonjour! カナダの生活あるある」でカナダの教育制度等について紹介しました。今回はそれに関連し、カナダにおける高校の教育システムについて紹介します。カナダの高校生は自分の将来の進路先や進学を定めて、それに合わせて自ら科目を選択し、勉強します。それは、自己管理と自己責任の教育方針です。

クラス編成

日本の場合、年度当初に決められ、全員が年間を通して同じカリキュラムで勉強していきます。しかし、カナダでは、生徒ひとりひとりが年度当初にカリキュラムを組み、自分が選んだ科目の教室に移動して授業を受けます。カリキュラムが自分に合っていないければ、各学期の初めに科目を変更することができます。

成績のつけ方

定期テストの結果と授業への取組姿勢を評価して出されます。成績は、日本と同じように科目ごとにつけられますが、A、B、C、Dの評価を出す学校と、評価をパーセントで出す学校があります。先生が、生徒の姿勢を見る基準は、授業に「参加」しているか、また積極的にプレゼンテーション（意見の発表）をしているかなどです。遅刻や欠席が多いと、大きなマイナス点になります。病気で休むときは、留学生の場合、ホームステイ先のホストファミリーに連絡してもらうか、手紙を書いてもらうなどして、学校へ届けを出しておく必要があります。



進級・進学のシステム

カナダの高校は、コース規定の単位を取得したあと進級します。高校課程の後半の2年は、進路に大きく影響します。通常の定期テストの結果と成績の総合評価で、それぞれの進路が決定します。大学進学を希望する場合は、各大学の専攻分野が指定する科目の単位を取得していなければその大学に進学できません。カナダの学校は、一般的に、学習意欲が高い生徒に対しては非常に熱心に指導してくれます。しかし、アドバイスを何度しても改めない生徒には、落第や退学などの処置がとられます。

